

# ブラジル日本商工会議所 業種別フォーラム 「自動車部会」レポート

2020年11月26日

## < 2020年の回顧とコロナ時代への対応 >

コロナ時代にどう立ち向かうか

### ➤ 四輪業界動向

1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

### ➤ 二輪業界動向

# 四輪業界動向

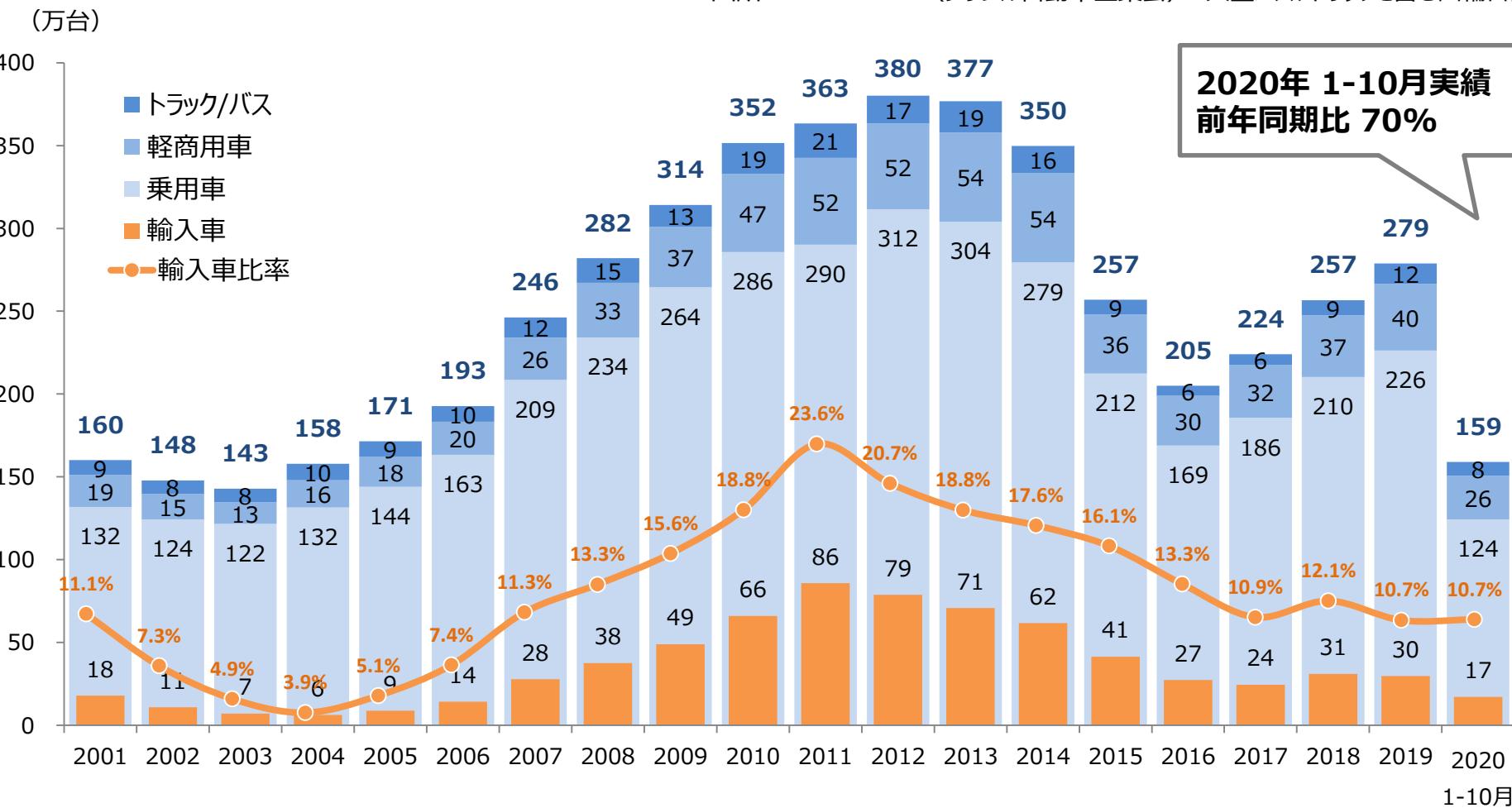
1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

# 四輪業界動向

1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

# 1. 2020年 振り返り – 販売台数 推移

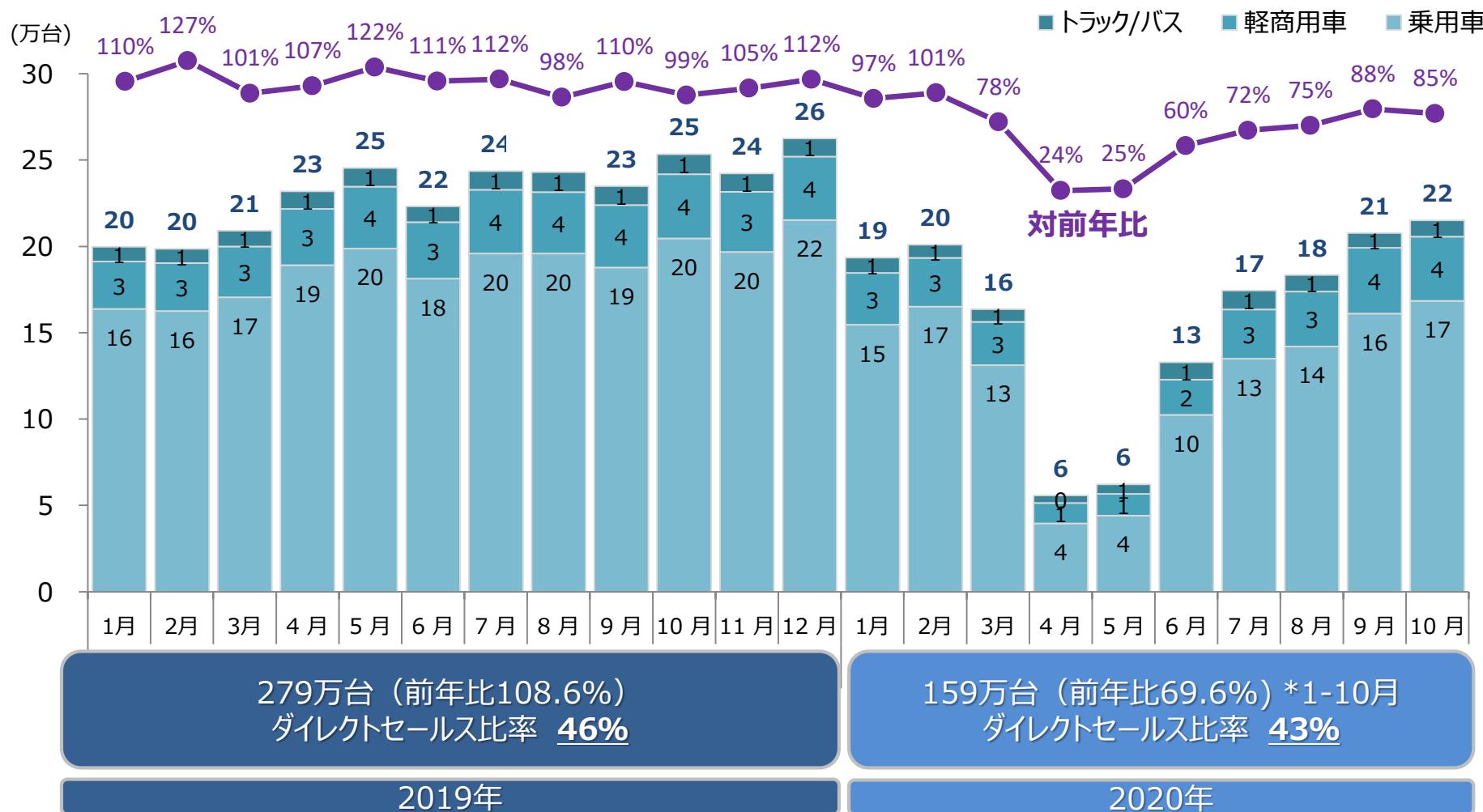
出所 : ANFAVEA (ブラジル自動車工業会) 大型バス、トラックを含む四輪合計



- 20年1-10月の四輪総市場は159万台（前年同期比70%）と、Covid-19影響を受ける
- 輸入車比率は11%と、前年同程度水準

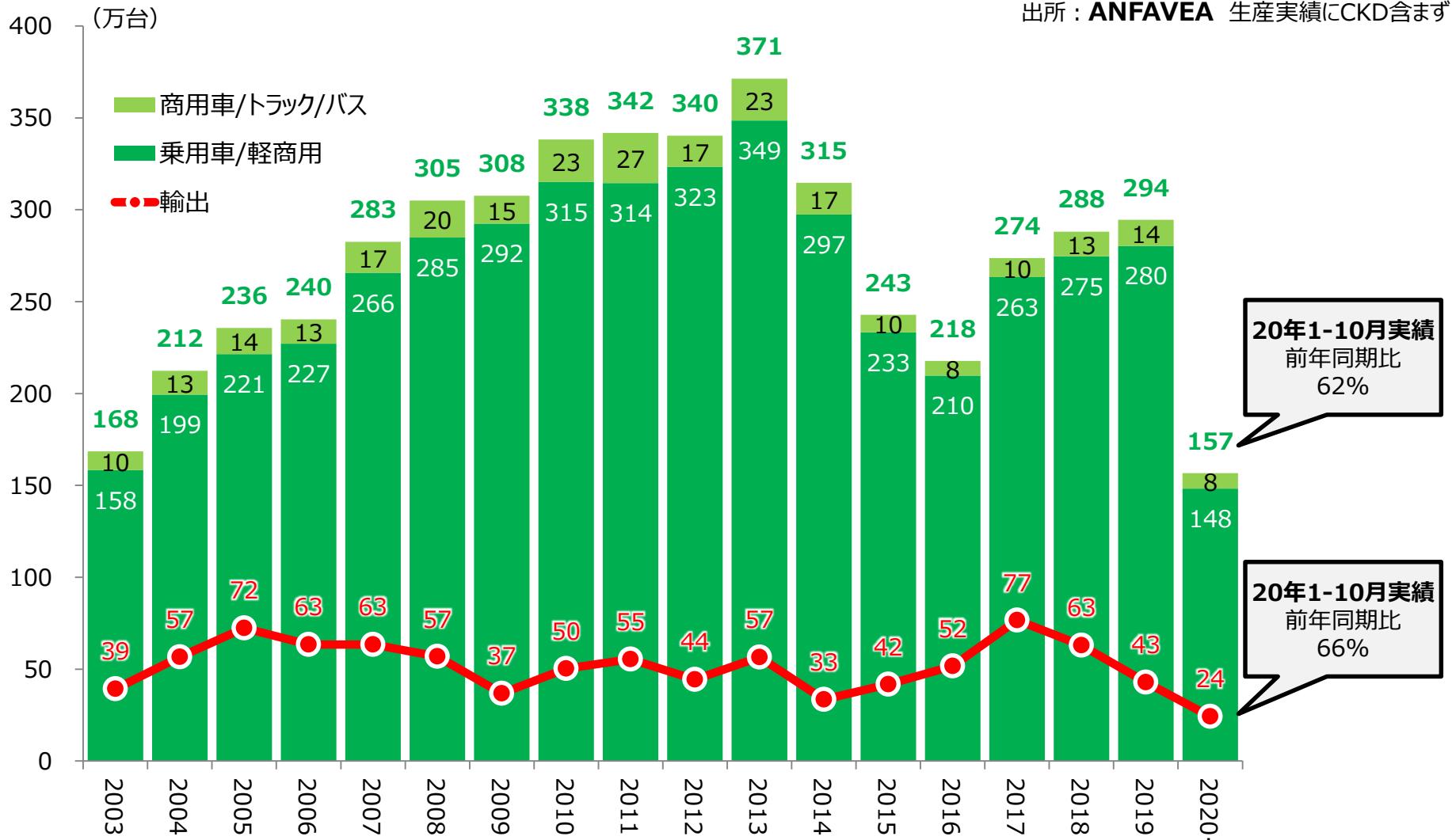
# 1. 2020年 振り返り – 月別販売台数 推移

出典 : ANFAVEA 大型バス、トラックを含む四輪合計



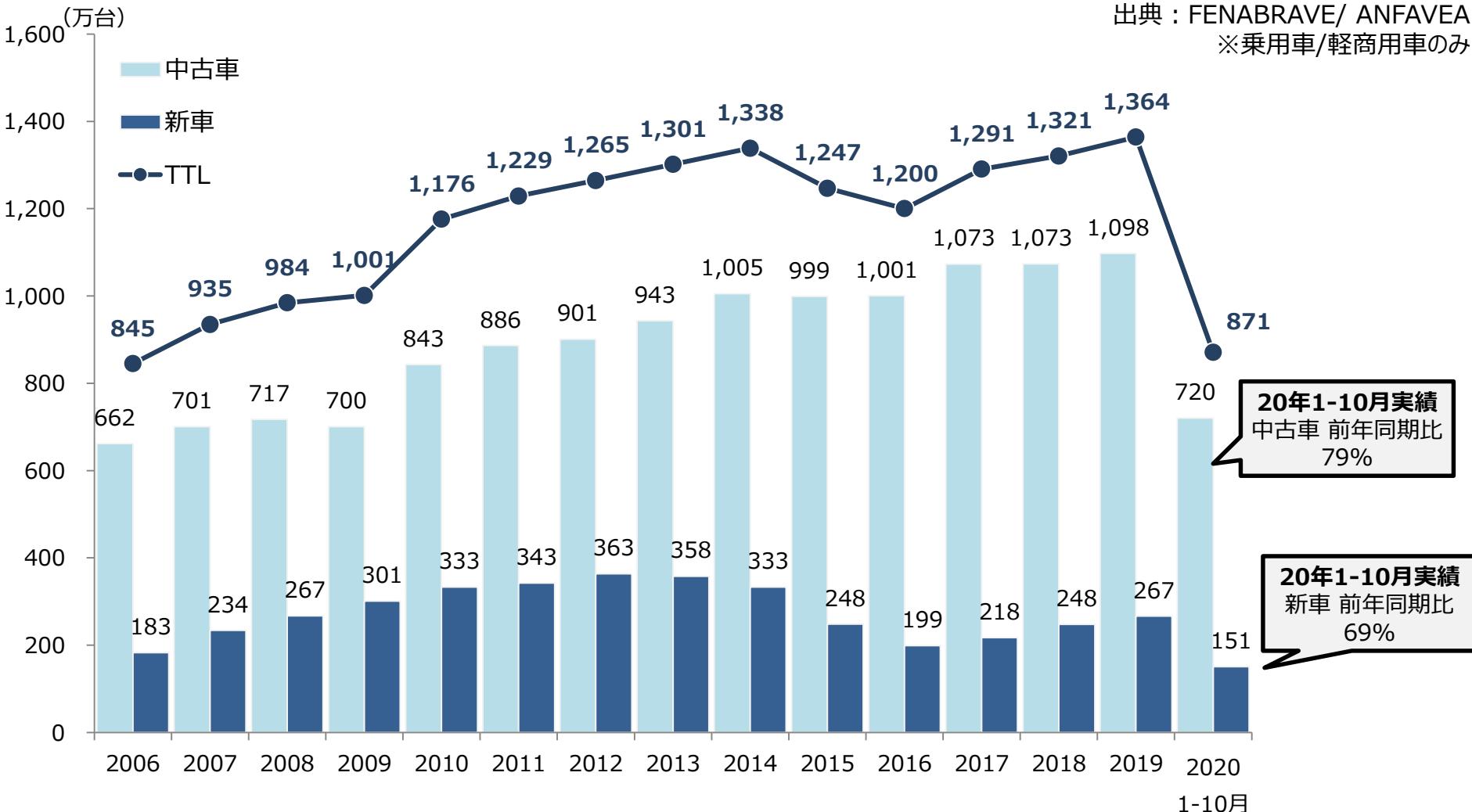
- 20年3月からCovid-19影響で販売は大きく落ち込む。経済活動再開により6月以降は回復傾向
- 法人・個人事業主向け、ハンディキャップのお客様向けの販売が市場を牽引（ダイレクトセールス）

# 1. 2020年 振り返り – 生産・輸出台数 推移



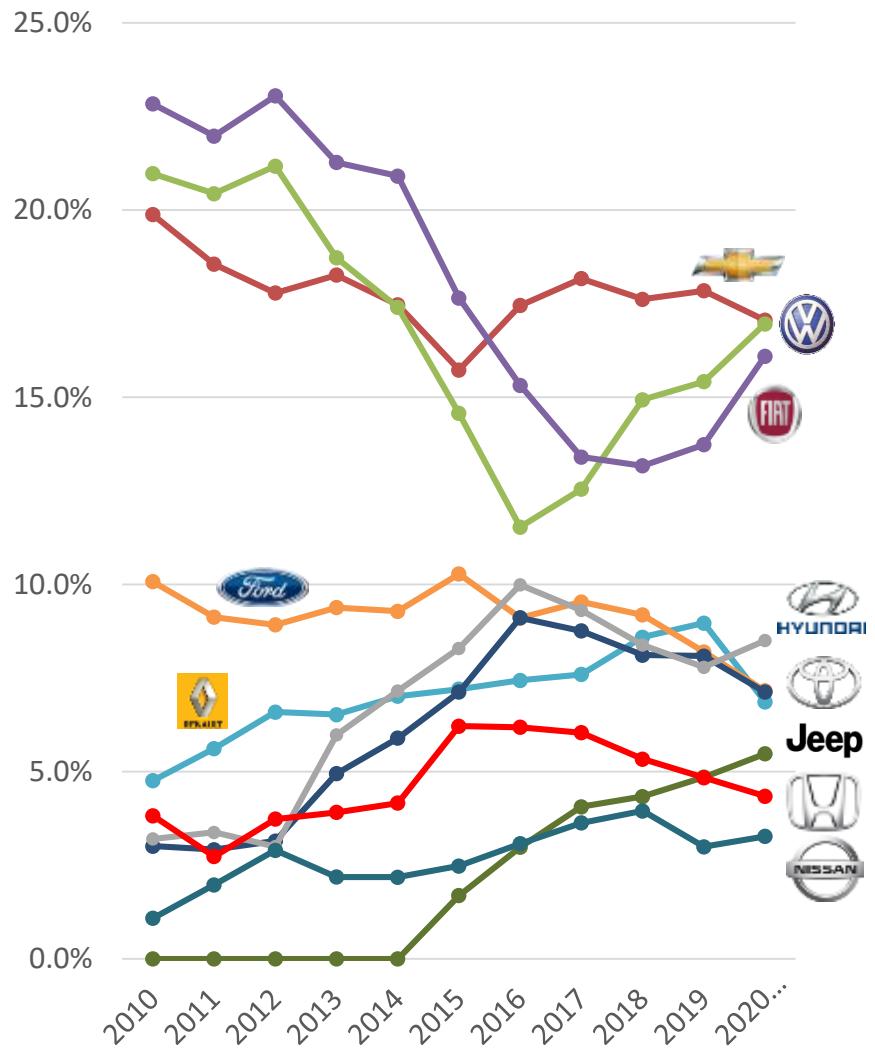
- 20年1-10月の総生産台数は Covid-19影響で落ち込み 前年同期比62%の157万台
- 輸出も同様に落ち込み、前年同期比66%の24万台

# 1. 2020年 振り返り – 自動車業界(中古・新車)



- 中古車市場もCovid-19影響により対前年同期比79%の720万台
- 新車市場と合わせ、計約870万台、新車の落ち込みは中古車を上回る

# 1. 2020年 振り返り – ブランド別シェア



単位：万台、トラック・バス除

'19	台数	シェア
1	47.6	17.9%
2	41.1	15.4%
3	36.6	13.7%
4	23.9	9.0%
5	21.9	8.2%
6	21.6	8.1%
7	20.8	7.8%
8	12.9	4.9%
9	12.9	4.8%
10	8.0	3.0%

'20	台数	シェア
1	25.7	17.1%
2	25.6	17.0%
3	24.3	16.1%
4	12.8	8.5%
5	10.8	7.2%
6	10.7	7.1%
7	10.4	6.9%
8	8.3	5.5%
9	6.6	4.3%
10	4.9	3.3%

- VW/Fiat/Hyundai/JeepのシェアUPにより、日系ブランドのシェアは微減。
- VWは新型車T-Cross,Nivus効果、Jeepはダイレクトセールス増によりシェアアップ

# 1. 2020年予測 – 自動車業界

出典 : ANFAVEA 生産実績にCKD含まず

## ◆ ブラジル市場・輸出・生産の2020年予測

単位 : 万台

	2019年 最終結果	2020年 年初予測		2020年中間修正予測	
		ANFAVEA (1月発表)	自動車部会	ANFAVEA (10月発表)	自動車部会
国内 市場	トラック・バス 含む総合計	279 前年比 : 9%	<b>305</b> 前年比 : +9%	<b>296</b> 前年比 : +6%	<b>193</b> 前年比 : -31%
	トラック・バス 除く合計	267 前年比 : +8%	<b>291</b> 前年比 : +9%	<b>283</b> 前年比 : +6%	<b>183</b> 前年比 : -31%
輸出台数		42 前年比 : -32%	<b>38</b> 前年比 : -11%	<b>38-a</b>	<b>28</b> 前年比 : -34%
生産台数		294 前年比 : +2%	<b>316</b> 前年比 : +7%	<b>316-a</b>	<b>192</b> 前年比 : -35%
					<b>192±a</b>

- 自動車部会はANFAVEA同様にCovid-19による約30%の市場縮小を予測
- 輸出台数は、Covid-19影響やアルゼンチン等の市場縮小を背景に、大幅前年割れを予測
- 将来的なポテンシャル市場である事に変わりなし。  
早期需要の回復に向け 各社の企業努力に加え、産業を下支えする様な政策にも期待したい

# 四輪業界動向

1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

## 2. 長期展望

前回  
シンポジウム資料より

<重要テーマ>

- 自動車政策 Rota 2030
- 排ガス規制 Proconve
- モビリティサービス CASE
- EPA 日メルコスール間
- 税体系簡素化

## 2. 日系企業としての対応

### ◆ 自動車政策 Rota 2030

- ・税恩典を最大限活用し競争力維持へつなげる

### ◆ Proconve 排ガス規制

- ・L7(22年～) 自工会と政府当局の延長交渉を注視。
- ・L8(25年～) 欧米に比べても非常に厳しい規制レベルとの認識。  
    厳しいビジネス環境下で過大投資につながる内容  
    一部細目未定。正しい方向へのロビー必要。

### ◆ モビリティサービス CASE

- ・将来拡大が見込まれるシェアリング、電動化、コネクティッド等への備え

### ◆ 税体系簡素化

- ・政権が掲げる税制の簡素化を後押し  
    例) PIS.COFINS二重課税訴訟の決着、複雑なIPI税制簡素化等、

### ◆ 日-メルコスールEPA

- ・ブラジルにおける日系メーカーの競争力強化のため政府に働きかけを継続

## 2. 日系企業としての対応 -Mobility 事例 (トヨタ)

➤ モビリティーサービス会社 KINTO 設立 (三井物産殿との協業)

### KINTO ONE

#### BENEFIT FOR CUSTOMER

##### COST

- ✓ Best offer for Toyota car
- ✓ Competitive in TCO than ownership



##### CASHFLOW

- ✓ No initial investment
- ✓ Use Toyota cars with monthly payment



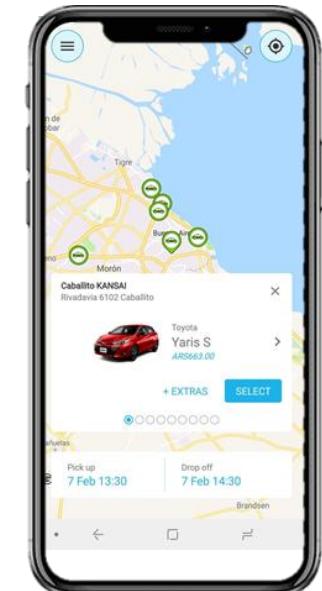
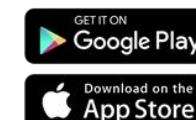
##### LEAN

- ✓ Reduce burden of fleet management
- ✓ Focus on core business



### ① KINTO ONE

企業向けフルサービス  
リース



### ② KINTO SHARE

個人ユーザー向けレンタカー  
サービス

# 四輪業界動向

1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

### 3. コロナ時代にどう立ち向かうか

コロナ後の変化点	ネガティブ	ポジティブ	出典:下期自動車部会でのヒアリング
働き方 ・オフィス環境 ・製造現場 ・販売現場	<p>■<u>製造面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策中（フェイスシールド）暑さ</li> <li>・当局のAudit対応</li> </ul> <p>■<u>販売面</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様のところに行けない (意向確認してから)</li> <li>お客様ニーズを考える機会に</li> </ul>	<p>■<u>リモート会議・ホームオフィス</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったよりも機能する</li> <li>・ブラジルの国民性にあってる、自発性も</li> </ul> <p>■<u>出張費等の経費削減</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本からの支援なくともリモートで</li> <li>・現場にカメラを入れリモートでフォロー</li> </ul> <p>■<u>プロトコル展開で感染防止に成果</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディーラー、生産現場、サプライヤー含めて</li> </ul>	
事業運営	<p>■<u>サプライチェーン、物流</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資材入手困難に（市場・生産性低下より）</li> <li>・資材値上がり</li> <li>・船の遅れ発生、Airで対応もコスト高</li> </ul> <p>■<u>為替レアル安</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地調達を進めたいが投資要</li> <li>・現地調達のため部品の現地仕様への変更要</li> </ul> <p>■<u>労務費負担</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事量減る中テンポラリー契約できず</li> </ul>	<p>■<u>底堅い商品も</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タイヤの販売は前年超え (安いブランドに移る傾向あるが、、、)</li> </ul> <p>■<u>輸出は利益増</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・為替安で周辺国への輸出は利益増に (輸出ビジネスは少ないが、、、)</li> </ul>	

# 四輪業界動向

1. 2020年 振り返り・予測
2. 長期展望 重要テーマ・日系ブランドの対応
3. コロナ時代への対応
4. 総括

## 4. 総括 ー本日のまとめ

### 2020年実績・予測

- 2020年1-10月新車市場は159万台と前年比79%。Covid-19影響甚大  
ダイレクトセールス比率は43%と高止まり。新車通年市場予測は202万台レベル。82%
- 生産は62%、輸出は66%。Covid-19影響による生産休止が影響
- 足元新車販売は対前年比85%まで回復するも、不確定要素あり今後も注視必要

### 足元コロナ時代への対応 = 新たな環境変化

- 販売・生産・オフィス働き方 感染対策、リモートを活用した新しい働き方の導入
- 調達 資材入手性が難しく、輸送手段が限られる中でのサプライチェーン対応

### 長期視点での対応 = 基本的に方針・ブラジル市場のポテンシャルに変化なし

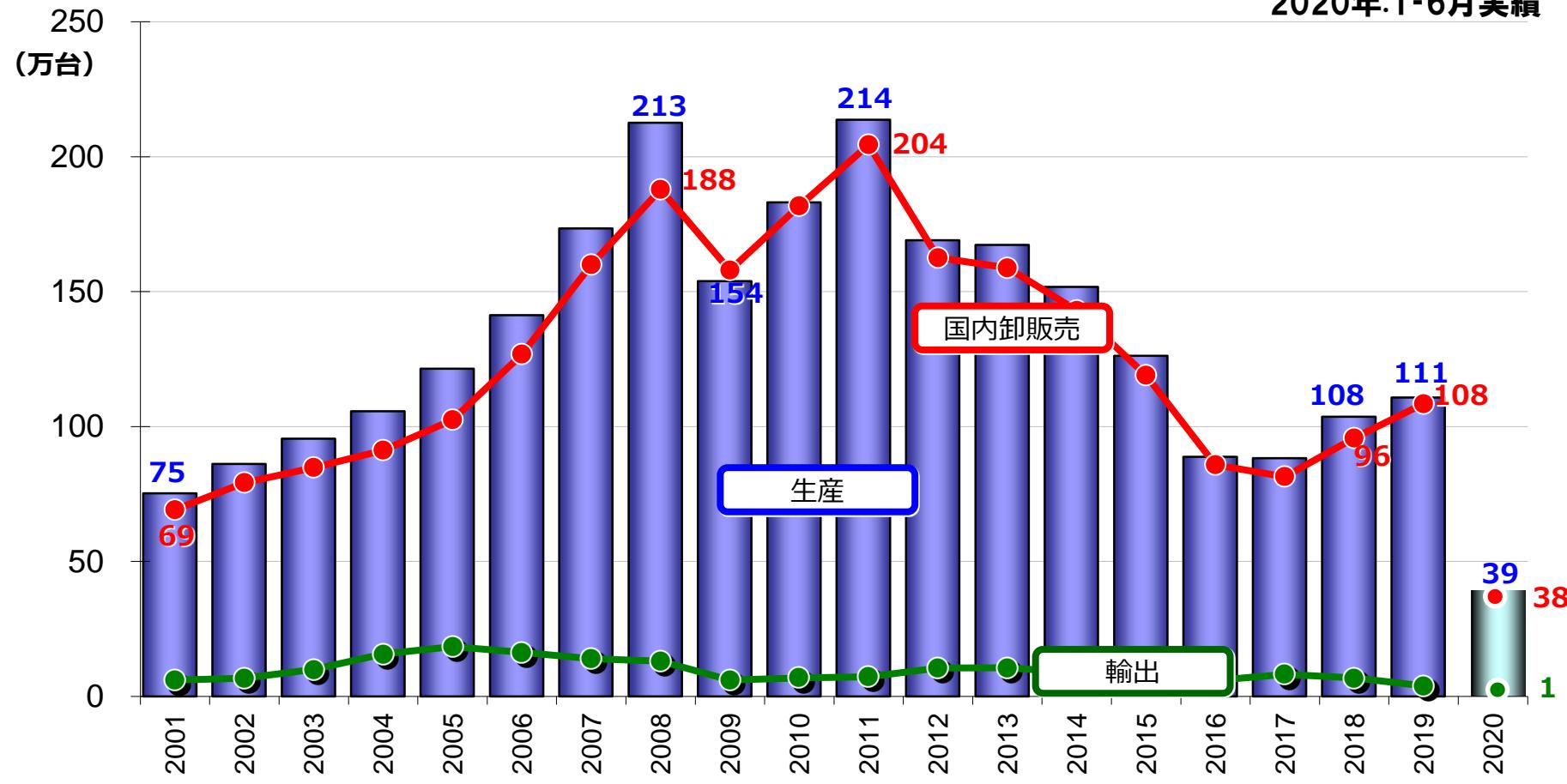
- 長期的視点に立ち、より一層 為替変化に強い事業体質づくりを継続  
→部品現調化、生産性向上などでコスト低減、輸出促進を計る
- 排ガス規制Proconveは現実に即したものにすべく、当局への理解活動を継続
- 新自動車政策ROTA2030への対応 →投資・燃費向上・安全装備適用等
- 将来拡大が見込まれるシェアリング、電動化、コネクティッド等の分野への展開
- 税体系簡素化、日メルコスールEPA締結への政府後押し

# 二輪業界動向

# 二輪車 生産・販売 推移

出典: Abraciclo

2020年:1-6月実績



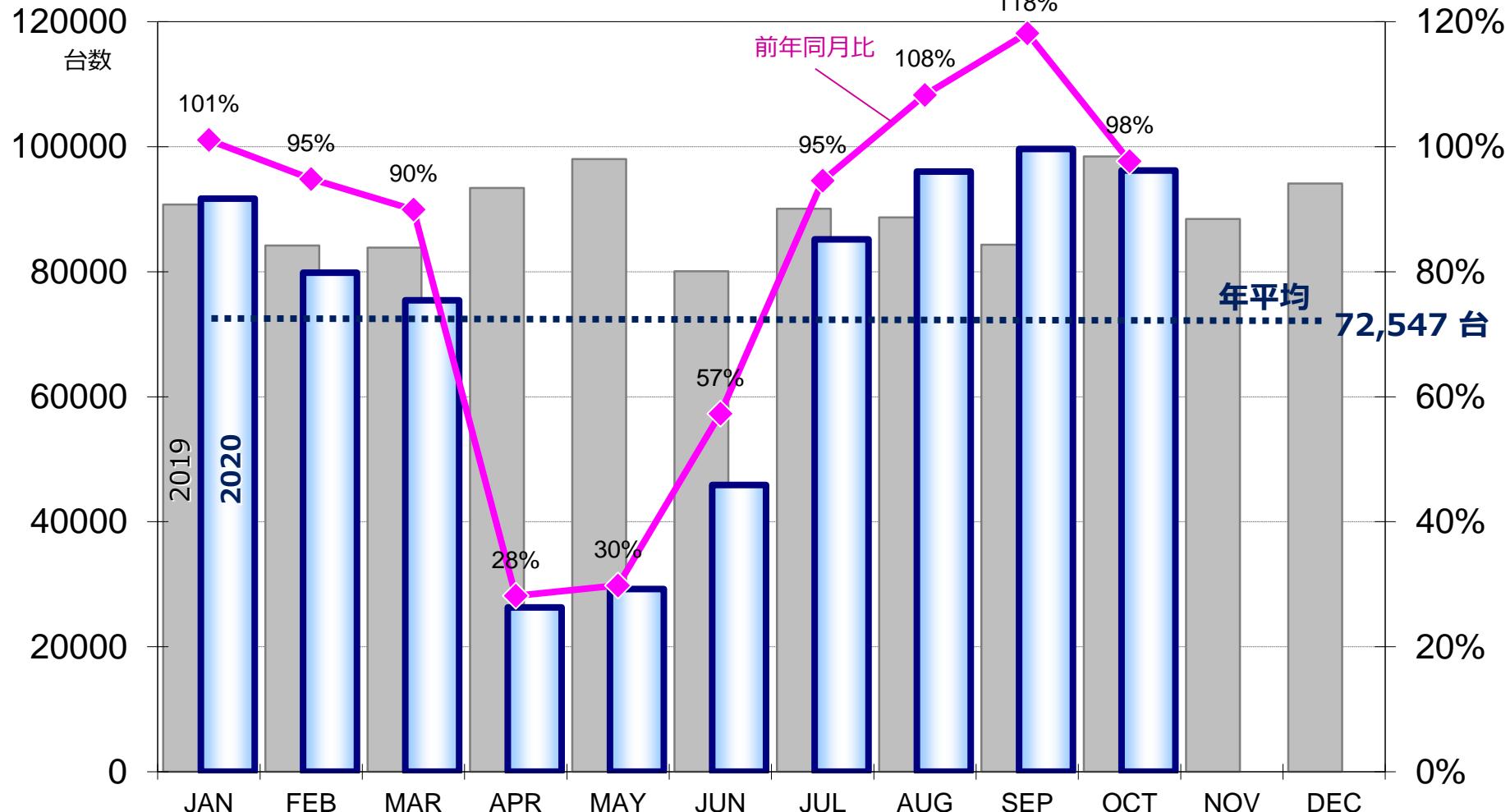
## 2020年(1-6月) 実績

卸:	38万台	(前年比 71%)
生産:	39万台	(同 73%)
輸出:	1万台	(同 51%)

1-6月実績はCovid-19影響で卸・生産共に対前年7割  
アルゼンチン等隣国も低調で輸出は5割に留まる

## 二輪車 月別登録推移 (2019年vs2020年)

登録データ(DETRAN)

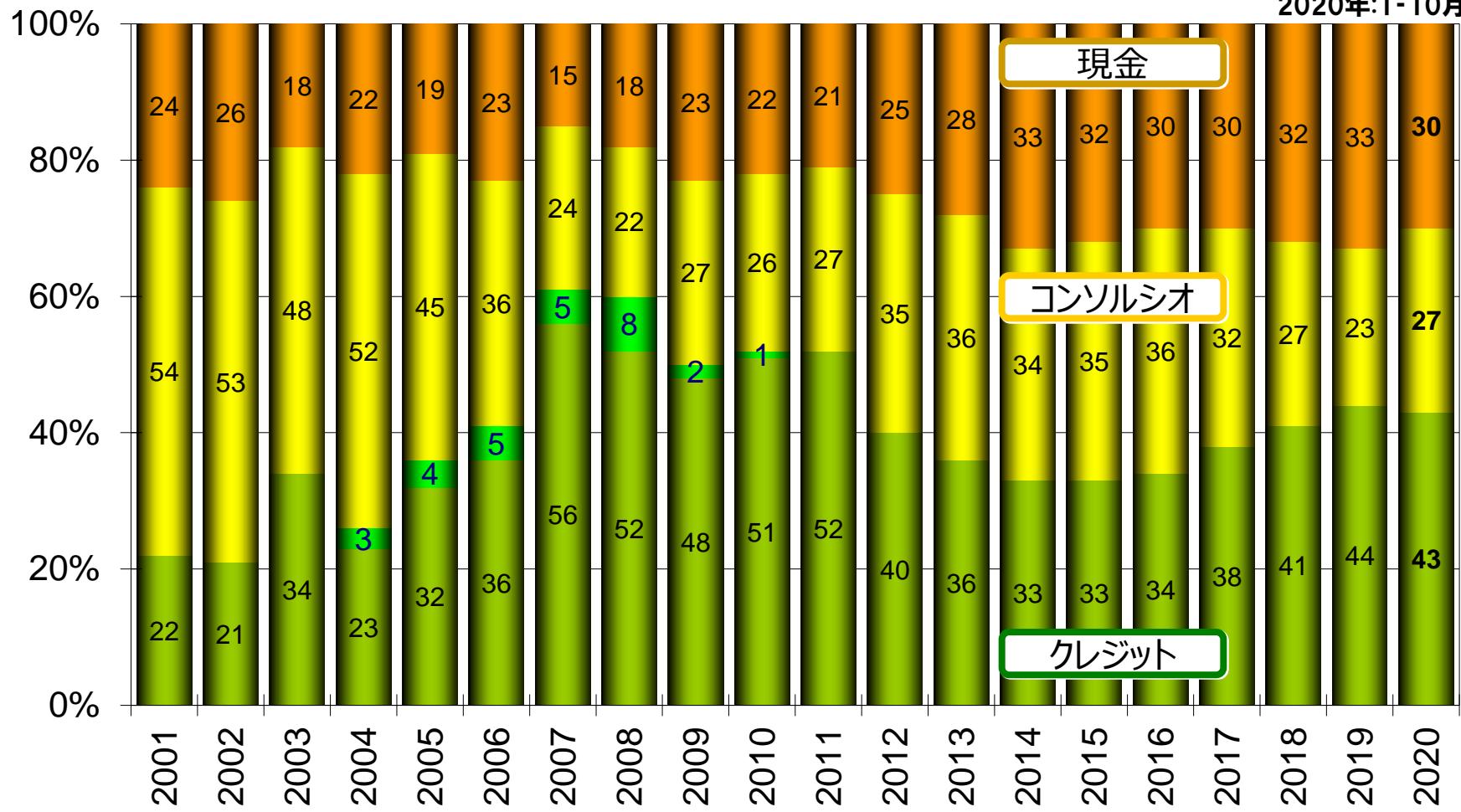


2020年はCOVID-19の影響で落ち込むも、足元では前年レベル挽回復

# 二輪車 支払形態別 販売比率

※出典:ANEF(自動車メーカー系金融会社協会)

2020年:1-10月実績



歴史的な低金利により、クレジット拡大  
今後注視必要

ご清聴ありがとうございました